

やまのべ 議会だより

創る、繋ぐ。子どもたちが誇れるまち

2020 **5**
令和2年5月12日発行
No.108

やまのべ
議会だより

2020年5月号 VOL.108



写真／作谷沢小・中学校入学式
(関連記事 14ページ)

発行／山形県山辺町議会
編集／広報常任委員会

Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地
TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1112



町ホームページで
議会中継を
発信中!!

- 3月定例会 令和2年度の主な重点事業 2
- 予算特別委員会 Q&A 4
- 町政のここはどうする? 一般質問 8
- 新しい町への挑戦 議会活動報告 11

●発行／山形県山辺町議会 ●編集／広報常任委員会
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷／藤庄印刷株式会社

あなたの声をお聞かせください

～交通指導員の方からのメッセージ～

交通指導員の皆さん

運転者の方は、通学と通勤が重なるので余裕を持った運転を

自転車は車と同じです。乗り方に注意を

車のライトは早めに点灯してください

暗い時間帯には反射材をつけてね

横断者がいたら止まってあげてください

歩行者のみんなも「おはようございます」と明るくあいさつを

止まってくれた車には感謝の心を表してね

横断するときは渡る意思表示を

— 私たちはみなさんの活動を応援しています —

表紙の説明



作谷沢小学校・中学校の入学式が4月7日に行われました。小・中学校それぞれ3名ずつ、計6名の新入生です。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席者全員がマスクをつけて式に臨んでいました。

来年4月から他校と統合すること、この学校への入学は今年で最後になります。新入児童・生徒は新しい学校生活に期待しつつ、新しい様子でした。

みんなを優しく包む両手のひらで「ハイポーズ！」笑顔いっぱいの子も達でした。

編集後記

暖冬小雪で、周囲の樹木や草花の一足早い春の訪れを感じます。一方、新型コロナウイルスの感染が全国のかつ急速にまん延し、国民の生活や地域経済に深刻な影響を及ぼし、一日も早い終息を切に願いたいものです。

「議会だより」を、今号よりさらに読みやすい紙面として一部内容を見直ししましたので、これからもご意見、ご感想をお寄せくださるようお願いいたします。

神保 稔 記

- 発行責任者
議長 樋口 和男
- 広報常任委員会
委員長 渡邊 裕二
副委員長 神保 稔
委員 伊藤 昭彦
委員 齊藤 恭彦
委員 伊藤 恭彦
委員 竹俣 朋博

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



91億 7532万円 可決 安全・安心なまちづくり

定例会のあらまし

第1回定例会が、3月2日から3月13日までの12日間の会期で開催され、5人の議員が一般質問を行いました。
町長より令和2年度一般会計および特別会計並びに公営企業会計の予算関係6議案について予算の基本的な方針と概要の説明を受け、直ちに予算特別委員会に付託し、最終日に特別委員長報告により全会一致で可決しました。また、副町長選任の同意、農業委員会委員任命の同意や条例の改正、補正予算、議員発議など全議案を全会一致で可決しました。

引き続き厳しい予算

一般会計予算

53億 2065万円

前年度比 +1892万円

0.4%増

山辺温泉保養センター 指定管理業務委託および 諸機器工事の更新など

管理業務委託料、浴室シャワー水栓、
遠赤外線・サウナヒーター取替工事

1484万円

山形市への消防・ 救急業務委託

町消防団活動事業を除く

2億 1226万円



待機する消防車両
(山形市西消防署)

令和2年度予算総額

非常時の庁内設備

防災マップの更新 など

予防事業の推進

定期予防接種・任意
予防接種への助成、
感染症予防



3488万円

今年度の 主な 重点事業

有害鳥獣被害対策事業

被害対策実施隊の捕獲活動、被害防止
活動支援

352万円

本庁舎の設備更新

災害時対策として
非常用発電機の更新事業



20年を経過した非常用発電機

826万円

防災マップの更新

地域防災計画の改定に
より6年ぶりの防災マ
ップの更新



415万円

地域コミュニティ 推進事業

地域コミュニティ活動の充実、支援

1825万円

令和2年度 会計別予算明細

会計名		令和2年度予算額	令和元年度予算額	前年度比(%)
一般会計		53億 2065万円	53億 172万円	0.4
特別会計	国民健康保険特別会計	14億 9571万円	14億 9030万円	0.4
	介護保険特別会計	16億 6354万円	16億 4685万円	1.0
	後期高齢者特別会計	1億 7370万円	1億 5811万円	9.9
企業会計	簡易水道事業会計	2017万円	-	-
	公共下水道事業会計	5億 153万円	-	-

※企業会計については、令和2年度から公営企業法（新会計制度）に基づき施行される。

その他の主な重点事業

地域の発展と町民の 福祉の向上を目指して

第5次山辺町総合計画の施策大綱により、
令和2年度も引き続き、次のような事業の
推進を図っていく予算内容です。

①一人ひとりの充実した暮らしを育む
まちづくり

子ども子育て支援、障がい者支援、高齢
者支援、教育・保育給付事業、ひとり親
家庭支援、各種健康増進・予防事業など

②学び合う文化が息づくまちづくり
学校給食センター事業、町立学校長寿命
化計画策定事業、体育・スポーツ振興事
業、体育施設維持管理事業、Taike
n堂運営補助など

③安全で安心して暮らせるまちづくり
消防団活動、防犯事業、交通安全事業、
除雪事業、道路橋梁維持管理事業など

④活発な産業活動を推進するまちづくり
中小企業振興対策事業、観光振興事業、
農業振興事業、ふるさと応援事業など

⑤人と自然が共生する資源循環型の
まちづくり
林業振興事業、ごみ処理事業、山形広域
環境事務組合負担金など

⑥実効性のある行財政の推進
本庁舎管理事業、財政・財産管理事業、
起債元金償還事業など

限られた予算を有効に…

予算特別委員会

チェック

Q&A

令和2年度予算案審議に対し、議長を除く全議員で予算特別委員会（委員長 安達春彦、副委員長 峯田博）を3月2日に設置しました。第1、第2分科会で4日間の審議を行い、3月13日に委員長から総括の報告を受け、本会議において全会一致で採択されました。

総務文教

第1分科会

総務課・防災対策課・政策推進課・税務課
会計課・教育委員会教育課・議会事務局

Q 県市町村振興協会交付金（宝くじ交付金）の活用先は。

A 社会教育事業に活用。今年度はふるさと資料館の事業に充当する。（総務課）

Q ストレスチェックで高ストレスと診断された職員のケアは。

A あくまで未然防止が目的で医療的診断ではないが、産業医との面談を勧めている。（総務課）

Q 庁舎LEDリールの効果は。

A 平成29年度の電気料金と比較して、年間120万円ほどの削減が見込まれる。LEDランプの耐用年数までには設備投資費は十分回収できる。（総務課）

Q 町内公共施設の、夜間・休館時の鍵の貸与方法を統一するべきでは。

A 今後、防犯もふまえて統一する方向で検討していく。（総務課）



一部公共施設にある鍵返却ポスト

Q 常備消防委託料が毎年増大しているが。

A 山形市消防職員と会計年度任用職員の給与増額、消防ポンプ車の更新、女性消防職員の勤務環境整備などが主な理由である。（防災対策課）



厳しい訓練に励む消防隊員

Q 県若者定着支援事業の趣旨と活用状況は。

Q 新聞活用教育事業による活用方法と効果は。

A 奨学金の貸与を受けた学生が卒業後、県内に就業し3年継続後に返還支援を行う事業。今年度で終了したが、これまで10名が助成候補者の認定を受けている。（政策推進課）

厚生産業

第2分科会

町民生活課・保健福祉課・産業課
建設課・農業委員会

Q 駅前自転車置き場は200台で足りるのか。

A 例年、申し込みは200台程度であるため十分であると考えている。（町民生活課）

Q 町営バス無料乗車券補助金の具体的な内容は。

Q 徘徊高齢者事前登録事業の内容は。

A 運転免許証返納者に最長2カ年で無料乗車券を交付している。平成30年度で17名、令和元年度は途中だが29名から申請があった。（町民生活課）

A 新規で見守りGPS端末購入費を補助し、身に着けることで徘徊高齢者の早期発見を図る。（保健福祉課）

Q 山辺町の宝である「棚田」について、後継者も含め、町ではどう考えていくのか。

A 国では、棚田のある周辺地域も含めた「棚田地域振興法」が議員立法で制定された。活用できる補助金もあるので、今後については地元の方々と協議を進めていく。（産業課）

Q 農業担い手育成の現状と見通しは。

A 現状として、2名の新規就農者の後押し、認定農業者青年農業者連絡協議会事業などで、情報交換・意見集約を図っている。将来は、新規就農者、後継者などの掘り起こしを進めていく。（産業課）



駅前駐輪場



完成が待たれる町道清水緑ヶ丘線

予算特別委員長報告

A 学校ではさまざまな新聞を読み比べて気になるニュースを取り上げたり、総合学習や社会科の資料に使用し、自分たちの意見を投書するなど効果がでている。（教育委員会）

- 大変厳しい財政状況の中で、行財政のなお一層の立て直しが喫緊の課題です。特に次のことに対し意見を付しました。
- 各種業務システム保守並びにリース料の効率化
- 若者の移住定住事業を促進
- 防災減災に対する意識向上のための訓練を実施
- 各種統計調査員の確保
- 納税等の口座振替の推進
- 町営バスの利用者拡大
- 山辺温泉保養センターの快適な環境整備と利用者の拡大
- 健康への意識高揚と事業の展開
- 有害鳥獣に対する地域ぐるみの活動の強化
- 農工商業者の担い手育成の推進
- 道路、橋梁の維持管理と環境整備の推進
- 時代に合った小中学生の文化活動の推進

Q 道路橋梁整備事業工事の具体的な場所は。

A 清水緑ヶ丘線（山辺中学校北側）の道路未整備箇所を、令和2年度完成予定。（建設課）

予算特別委員会

議案審議

条例改正

監査の執行の一部改正

監査業務を効率的、効果的に遂行するため、定例監査を9月から10月実施、例月監査を15日から原則20日に条例を改正します。

印鑑条例の一部改正

成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づき、不当な差別や欠格条項、権利の制限に係る措置の適正化を図るために条例を改正します。

山形市との定住自立圏形成協定の廃止並びに議会の議決すべき事件の一部改正

山形市が中核市に移行し、新たに6市6町の枠組みで連携中核都市圏を形成するため、平成23年7月5日付で締結した定住自立圏協定を令和2年3月31日で廃止するもので、これに合わせて定住自立圏協定の締結、廃止を議決事項と定めた条例を改正します。

職員のサービスの宣誓の一部改正

令和2年4月1日から運用開始される会計年度任用職員のサービスの宣誓を任用形態などに応じて行うことを可能とするため、条例を改正します。

特別職と一般職員の給与の一部改正

厳しい財政状況および社会経済情勢などを考慮し給与が減額されます。(令和2年4月1日から令和3年3月31日までに限る)

町長	↓	20%
副町長	↓	10%
教育長	↓	8%
課長級	↓	4・3%
課長補佐級から係長級	↓	3・8%
主査級から主事級	↓	1・8%

一般職員の給与の一部改正

人事院および山形県人事委員会の勧告により条例を改正します。

交通指導員条例の廃止

地方公務員法や地方自治法の一部改正に伴い条例を廃止します。なお、令和2年4月より特別職非常勤職員から有償ボランティアとして個人に委嘱を申し上げ継続していきます。

人事案件

副町長選任の同意

清野康隆氏(鍛冶町2)が再任。

農業委員会委員任命の同意

江口順市氏(再)、多田秀逸氏(再)、岡崎政志氏(再)、鈴木正志氏(新)、多田美幸氏(再)、佐藤るみ子氏(再)、齋藤 榮氏(新)、渡邊秀彦氏(再)、固定資産評価審査委員会委員選任の同意
渡邊俊博氏(再)、東海林正昭氏(再)、齋藤 勇氏(再)

人権擁護委員の推薦に同意

高橋新一郎氏(再)、土屋紀枝子氏(再)、峯田誠一氏(再)、會田 久氏(新)、大通雄治氏(新)
以上の方を同意。

振興審議会委員の選出(議会選出4名)

武田啓一郎、遠藤真由美、安達春彦、峯田 博を選出。

社会教育委員の選出(議会選出2名)

佐藤利和、竹俣 朋を選出。

ふるさと資料館運営委員の選出(議会選出1名)

佐藤利和を選出。

その他の案件

農業委員会委員の4分の1以上を認定農業者等とする同意

4月16日任期満了に伴い、定数と同数の8名の推薦又は応募があり、評価委員会から「候補者として全員妥当」との報告を受け、「原則、認定農業者が委員の過半数を占める」と農業委員会法での定めがあるため、例外規定を適用する必要が生じたので議事に同意を求められました。

権利の放棄

所在不明、死亡により回収不能となっている町営住宅家賃で民法の規定の消滅時効の5年が経過している債権を、法の規定によって不納欠損処理とします。

令和元年度 一般会計補正予算

2億2674万円を増額し、
56億9665万円に

公共施設等再生整備基金積立金	1億2000万円の増
公有財産購入費	2億821万円の増 (土地開発基金が保有する土地の買戻し)
ふるさと応援事業	6402万円の増
国保特別会計繰出事業	599万円の減
介護保険特別会計繰出事業	1425万円の減
子育て支援対策事業	878万円の増
山形広域環境事務組合事業	1641万円の減
担い手育成支援事業	944万円の増
消費増税プレミアム付商品券事業	912万円の減
除雪事業	1000万円の減
道路・橋梁維持管理事業	1829万円の減

特別会計補正予算

会計名	予算増減	総額
国民健康保険特別会計	8071万円の減額	14億4905万円
公共下水道事業特別会計	562万円の減額	4億9230万円
介護保険特別会計	9373万円の減額	15億8251万円
後期高齢者医療特別会計	9万円の増額	1億5576万円

※各会計は事業実績見込みによります。



期待されるふるさと納税

請願

請願名	次期食料・農業・農村基本計画に関する意見書の提出について
請願者	山形農業協同組合 代表理事組合長 岡崎 輝明 山形農協農政対策協議会 会長 岡崎 輝明
趣旨	今後とも国産農産物の安定供給を確保し、持続可能な食料の安全保障のため、基本政策に向けた中長期の農政の指針となる食料・農業・農村基本計画の見直しに当たっては、生産面および消費面からの対策を明記されたいとの趣旨であります。
紹介議員	武田啓一郎、竹俣 朋
結果	全会一致で採択

議員発議

次期食料・農業・農村基本計画に関する意見書の提出

衆・参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣に意見書を提出。
なお、県選出国會議員に意見書写しを提出しました。



町ホームページで
議会中継を
発信中!!

一般質問

町政のここはどうする?

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。



※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

定例会のお知らせ
次回の定例会は6月です。傍聴については、町ホームページをご覧ください。
電話 023-667-1117 (議会事務局)

3月定例会では、5人の議員が一般質問を行いました。

安達 春彦	行財政改革	行財政の在り方と10年後の未来は
武田啓一郎	農業振興	米づくりの大型機械化にむけ再圃場整備を目指すべきでは
竹俣 朋	障がい者福祉	知的障がい者の自立へ向けて具体的な対策を
峯田 博	子育て支援	子育ての支援拡大は
伊藤 恭子	定住推進	人を呼び込む交通網整備の現状と今後は

農業振興



武田啓一郎

米づくりの大型機械化にむけ再圃場整備を目指すべきでは

(町長) 若い農業者の意欲
受益者の総意などを醸成

質問 農業の大型機械とAI(人工知能)化。やまのべの米づくりも、中核農家や認定農業者の作業効率化を図るべき。

答弁 再圃場整備へのプログ
ラミングが見えている。町はやまのべの米づくりの姿をどう描いているか。関連事業もあり、取り組む歴史的な好機。



小さい区画の田んぼで、大型コンバインが刈取りに奮闘...

農業者が事業主体であつても歴史的な大事業を先導し、旗を振り続け、牽引していくのは町ではないか。

答弁 大型化を含め、農地の集約化を推進し、効率的な農業経営を目指すことが重要。40〜50年経過している立道地区の水利、農業施設の実態調査をする必要があると考えている。

再圃場整備に取り組むとなれば、今後30年後を見据えなければならぬ。若い農業者の意欲も必要。現在の農業者、特に若い農業者と将来の農業の在り方を共に語り合いながら考えていく。

国、県の制度の活用を踏まえて、関係機関と連携し、受益者の総意、気運を醸成し、さまざまな課題と向き合い、情報を農業者に発信して取り組んでいき

行財政改革



安達 春彦

行財政の在り方と10年後の未来は

(町長) 中長期的な視点にたった財政健全化を推進して参りたい

質問 近年微増傾向にある町税収入も今後は大きな増収を見込むことは難しい状況。10年後の山辺町の行財政ビジョンの考えは。

答弁 「第5次山辺町総合計画」の実現。人口減少・高齢化に対し、財源の確保が危惧される中でも持続可能な町づくりと財政運営に努めていく。

質問 行財政改革は、出るお金を減らし入るお金を増やすのが基本軸。歳入・歳出の財政状況の着地額および効果額は。

答弁 歳入と歳出のバランスが重要。将来の展望を持って町の施策を進めていく必要がある。



夢と希望を持ち山辺に根を下ろす町民の期待に応える

質問 「第5次山辺町総合計画」には「町税の収納率0.4%アップ」を掲げているが、その金額は町税約12億円のうち0.4%は500万円程度。中長期的な歳入確保が喫緊の課題では。

答弁 ふるさと納税の推進と町有財産の積極的な売却を考えている。

質問 14,000人の町民が夢と希望を持ち土地を買い、借金をしてでも山辺町を選んでいる。5年・10年を見通した財政計画を示し、毎年度修正・公表していくことはできないか。

答弁 総合計画の進行管理3カ年「実施計画」をローリング方式で策定し毎年度見直ししている。限られた資源を有効に活用し、住民満足度の高い行政サービスを提供していきたい。

障がい者福祉



竹俣 朋

知的障がい者の自立へ向けて具体的な対策を

(町長) 農福連携など、さまざまな情報を提供していく

質問 山形県が平成30年に農福連携プロジェクトチームを設置し、事業を展開している。この事業を、町内にただ一つの障がい者福祉施設、山辺町社会福祉協議会が運営している就労継続支援B型事業所へ紹介し、活用する考えは。

答弁 山形県から説明を事業所でも受けているが、利用者の特性や作業内容を考慮し見送っている状況。また事業所独自の農福連携も行っているとのこと。町としては今後も農福連携を含めたさまざまな情報を提供していく。

質問 たくさんの方の作業内容がある中、「見送り」や「事業所独自

答弁 この事業は農家と福祉施設利用者や保護者の希望でのマッチングである。関係者の希望をよく聞き、かつ作業内容など個々の

質問 農福連携事業は、農業の労働力・担い手不足や放棄地増加の解消にも結び付くと思うが、農家の方への周知の考えは。

答弁 昨年度1件だけ活用があった。労働力不足の解消に向けて、もっと広く周知の徹底をしていく。



自主製品を心をこめて縫っている障がい者福祉施設あおぞらの利用者

一般質問

子育て支援



博 峯田

子育ての支援拡大は

(町長) 自主財源の見直しから、現状では出来ない

質問 各町は国や県の施策に上乗せし、人口増を目指している。総合戦略の基本目標に「医療費の無料化」についてはない。さかみつ子議会でも提案のあった医療費の無料化を高校3年生まで引き上げる考えは。

質問 給食費の父母負担を、例えば在学中の第2子以上は無償にするなどの支援を。

とされ、保護者の理解により食料費の全額を負担いただいて、ここ数年は給食費の滞納はない。学校教育法による準要保護者世帯の児童生徒に、給食費の9割を支給している。提案の給食費半額や無償は、町負担が発生し、財源確保が課題となる。在学中の子どもの人数によっての負担軽減は不平等と感ずることもあるので、今のところ考えていない。

質問 学校給食法では食材購入の費用は、給食を受ける児童または生徒の保護者の負担

とされ、保護者の理解により食料費の全額を負担いただいて、ここ数年は給食費の滞納はない。学校教育法による準要保護者世帯の児童生徒に、給食費の9割を支給している。提案の給食費半額や無償は、町負担が発生し、財源確保が課題となる。在学中の子どもの人数によっての負担軽減は不平等と感ずることもあるので、今のところ考えていない。

質問 「子どもの医療費無料化制度」は国の責任で行うべき。18歳まで医療費無料化をしている県内自治体数は、35市町村中18市町村あり、年齢の引上げは課題であると認識している。

質問 無料化の拡大は全額が自主財源で、限られた財源の中で総合的な観点から判断するのも重要であると考えます。



高3までの医療費無料化を

定住推進



子 藤 伊

人を呼び込む交通網整備の

現状と今後は

(町長) 町の重要望望事項に掲げ早期実現に向けて関係機関と協議していく

質問 町は人の往来につながる生活基盤の道路整備をどう進めているか。

質問 初めて国直轄道路が当町を通ることとなる国道112号線バイパス化事業決定を受けて、樫沢山辺中山線整備事業の早期着手を要望している。

線の大門から北へ延伸し、将来的に国道112号線と国道458号線を結ぶ町道北垣船町線へ延伸することで道路網のネットワークが図られる。いずれの道路も事業主体が国または県であり、町の重要望望事項に掲げ、早期実現に向け関係機関と協議していく。



延伸が早期に待たれる町道大門鶴田線(大門地区)

厚生産業常任委員会

農業を取り巻く厳しい状況を再認識し、担い手育成の重要性を理解

厚生産業常任委員会が2月25日、山辺町役場3階委員会室にて、農業委員会の委員の方8名をお招きして開かれました。

まずは農業委員会から町長に提出された要望書について報告がありました。農業従事者の高齢化が進み、労働力、後継者、担い手ともに不足し、農業を取り巻く環境は非常に厳しい状況となっており、農地利用の最適化推進、農業経営の充実、遊休農地の発生防止と解消、農業委員会活動強化などが急務であるとのこと。自治体で真剣に話し、要望書通り実施できるように取り組んでいかなければならないと再認識しました。

要です。農業従事者を確保しないと、荒れ放題の国土となってしまいます。中山間地域の農地は「緑のダム」と表現されるくらいとても大切なもので、荒廃すれば山崩れを起こす要因となります。休耕地や耕作放棄地の解消には、担い手育成が必須であり、そのためには新たな視点も必要で、農業のスマート化ICT化も視野に入れ振興策を図る大切さなど、熱く協議することができました。

続いて令和元年の町内農業情勢の実態と今後の振興策について協議しました。やはり高齢化で生産者が年々減少しているとのこと。大規模農家の方が耕作をやめた場合にその田や畑を放棄地としないよう、代わりに誰が担っていくのかなど、大きな問題を抱えています。国土保全の意味でも農業は重



将来の山辺の農業を語り合う

山辺町・中山町両町議会議員協議会

山形の良質な水の安定供給と有害鳥獣の被害拡大防止について

山辺町・中山町両町議会議員協議会が、1月22日、中山町を会場に行われました。

はじめに、村山広域水道「西川浄水場」と最上川中部水道企業団「浄水場」を視察し、山形のきれいな水をポリ塩化アルミニウム(PAC)という物質に汚れを吸着させ取り除き、上澄みの水をさらに「ろ過」し、良質な水道水を家庭や企業に送り届ける仕組みを学ぶことができました。私たちが生活していくうえでなくてはならない大切な「命の水」。水源となる河川とその周辺環境をいつもきれいにしておくことがなによりも大切です。県企業局や企業団では水道水源の保全に常につとめていますが、毎日の生活の中で水を汚さないように、一人ひとりの協力なくしてはつづけることができないということでした。皆さんも環境保全のご協力をお願いいたします。

その後、両町だけでなく全国的な問題でもある有害鳥獣被害による対策や、これからの取り



ろ過システムを学ぶ

組みなどについて話し合いました。イノシシやハクビシン、その他の有害鳥獣による被害が拡大していることは両町とも同じ問題をかかえています。今後、猟友会などによる実地隊の活動の充実や、市町の垣根を越えた広域的な取り組みが重要であること。イノシシなどの活動領域を拡大させないために、隠れ家となる荒廃農地の刈り払いや、餌となる農作物の残渣の処理、放任果樹の伐採など、地域住民が自らの問題として被害防止に取り組む必要があることなどが話し合われました。

議会よりお知らせ

第10回 山辺町 議会報告会 延期のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、第10回山辺町議会報告会の開催につきましては、延期とさせていただきます。
開催日が決まりましたら、議会だよりまたはホームページでお知らせいたします。

未来を話す会

まちづくりは、ちょっとしたアイデアから生まれます！
山辺町の未来について、あなたの思いやアイデアを気軽に話してみませんか。



おじゃまします！ 出前議会

まちづくりについて議員と話してみませんか。



いろんなアイデアやご意見、お聞かせください。
地域の集まり、子ども育成会、会社・グループなど少ない人数でもご指定いただいた会場にこちらから伺います。
土日、夜でも対応いたします。

希望日は
ご相談ください

お申し込みは、お近くの議員までお気軽にお話しください。

お問い合わせ 山辺町議会事務局 TEL 023-667-1117 E-mail : gikai@town.yamanobe.yamagata.jp

行財政調査特別委員会

山辺町の財政状況を分析し

改善策を提案していく方針を決定

令和2年度の山辺町予算の内示を受け、2月18日、「令和2年度予算に向けた第3次行財政改革大綱に基づく強化取り組み状況」を調査すべく、役場にて行財政調査特別委員会を開催しました。
新たな議員3人を迎え、これまで行った3回の委員会および全員協議会などで調査検討をした経過などを振り返り、今後は、町の「財政運営見込みと今後の取組み」を令和2年度中に、第3次行財政改革大綱期間、特に強化されている平成30年度から令和2年度の行財政改革の効果などのデータを町側より提示してもらい、そのデータを受け、議会として、行財政の改善に向けた提案などをまとめることとして方針を決定しました。
その直後に総務課長をはじめとする管理職全員出席のもとで、調査の主題となる説明と質疑応答など協議を行いました。
まずは、現状を基に行革の必要性について再度説明を受け、新年度当初予算が決定するまでのプロセス、その中での査定状況および令和2年度以降に先送りされる事業などの説明を受けました。また、最後に行革の取り組みにより変更している（変更をきたす）業務や事業についての説明を受けました。
これらの説明を受け、管理職と質疑応答を行い、詳細は、予算特別委員会で審査することを確認いたしました。



効果的・効率的な運営を目指して

- ◆ 質疑は以下のとおりです。
- ◆ 行財政改革推進本部の会議までの経緯・経過は
- ◆ 令和2年度以降に先送りしている事業で大きなものは
- ◆ 延長窓口見直しの具体策と至った経緯は
- ◆ 子育て広場開設施設見直しの具体策と、至った経緯は
- ◆ 玉虫沼農村公園の指定管理者制度活用の見直しの方向性は
- ◆ 介護予防教室など参加料見直しの具体策と、至った経緯は
- ◆ 観光案内所運営方法変更の具体的内容は
- ◆ ふるさと納税の取り組み方の新規具体策は

イベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 むらきざわあじさい祭り	山形市村木沢地区 出塩文殊堂	6月下旬～7月中旬予定	文殊堂参道515メートルの石段脇に40種類、2,500株のあじさいが咲き揃います。	村木沢地区振興会・あじさい祭り実行委員会 Tel 023-643-2050
山市 スマイルプロジェクト☆かみのやま	上山市 三友エンジニア体育文化センター 市民総合運動広場	7月25日(土)	みんなに夢と希望を与えるイベント。楽しめる催し物満載。クライマックスは夜空に開く大輪の花火	上山青年会議所 Tel 023-672-7721
中山町 第30回全国かぶと虫相撲大会	中山町総合体育館	7月23日(木) 海の日	かぶと虫相撲大会、木のぼりレース、スタンプラリー、ゆるきゃら大集合、出店他	中山町観光協会 Tel 023-662-5777

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止・延期になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。